

令和4年12月23日

有明小学校保護者様

令和4年度 有明小学校「学校評価」アンケート集計結果について（お知らせ）  
天草市立有明小学校  
校長 森下 和代

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて、各ご家庭におかれましても適切な対応をいただき、誠にありがとうございます。

さて、先日実施いたしました「学校評価」アンケートについて、下記のとおり結果となりましたので、お知らせいたします。

今後も、保護者、地域の皆様とともに、「地域とともにある学校づくり」に向けた取組を進めていきたいと考えております。引き続き、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

記

有明小学校「学校評価」アンケート結果  
(4段階評価での平均を表示しています。)

	評価項目	児童評価	保護者評価	学校関係者評価
1	子どもは、明るく元気のよい学校生活ができていると思う。	3.4	3.2	3.6
2	子どもは、自分の命やすべての人の人権を大切にしていると思う。	3.5	3.2	3.4
3	子どもは、交通ルールを守り、安全に登下校できていると思う。	3.6	3.0	2.9
4	子どもは、きちんと教師の話を聞いて学習に取り組んでいると思う。	3.3	2.9	3.4
5	子どもは、授業中自分の考えをはきはき発表できていると思う。	3.1	2.9	3.3
6	子どもは、家族や地域の方に対するあいさつや礼儀ができていると思う。	3.6	3.0	3.4
7	教師は、分かりやすい授業をしていると思う。	3.5	3.2	3.6
8	学校の教室及び校舎内外の掲示や整頓、清掃等はできていると思う。	3.4	3.5	3.6
9	学校は、受付や電話の対応など相手に対して気持ちよくできていると思う。		3.4	3.9
10	学校は、教育目標や学校行事等の情報発信をして、地域とともにある学校づくりをしていると思う。		3.3	4.0
11	学校は、教職員の働き方改革への取組を進めていると思う。			3.5

## アンケート結果の分析

※課題については、項目ごとに整理して記載し、四角囲みで今後の対応を記入しています。

### (1) 数値結果から

- 交通ルールを守り安全な登下校ができていると思う児童が多い。
- 家族や地域の方に対する挨拶や礼儀ができていると思う児童が多い。
- 教師は、分かりやすい授業をしていると思う児童が多い。
- 学校全体として環境整備が適切に行われていると思う児童・保護者・学校関係者が多い。
- 学校は、受付・電話対応等が適切に行われていると思う保護者・学校関係者が多い。
- 学校は、教育目標や学校行事等の情報発信をして、地域とともにある学校づくりに取り組んでいると思う学校関係者が多い。
- 授業中、自分の考えをはきはき発表することについては、児童・保護者ともに課題があると考えている。

### (2) 学校関係者（学校運営協議会委員）の意見から

- 新聞に掲載されたボランティアガイドなどの挑戦、素晴らしかったです。
- 基本的な生活習慣とか地域社会との関わり方までのエネルギー消費は大変だと思います。老人会では、「利己的にあらず、利他的あれ」と精進しているところです。
- 人格形成上、最も大切な成長期ともいわれる小中学生時にコロナ禍、将来その影響が取り越し苦労であればと思っています。
- 自転車でヘルメットをかぶっていない子を見かけます。登校中は、道路の歩き方、挨拶ともに良好ですが、下校時は、小中学生で旧道の歩き方も自転車も並列が目立ちました。

安全な登下校や自転車の乗り方について、再度確認を行い、継続して指導をしていきます。また、その他の安全指導も継続して行っていきます。

- 挨拶は、ほとんどの子供たちは元気よくできていますが、なかにはこちらから挨拶してもしない子供もいて、学校よりも家庭のしつけだと思います。

学校でも、気持ちのいい挨拶ができるよう継続して指導をしていきます。家庭と協力をし、学校と家庭とで連携して取り組めるよう、PTA役員会や学級懇談会等でも引き続き話題にし、協議していきます。

### (3) 保護者の意見から

- 授業参観の時に、保護者の方が廊下で集まって話をされる声が大きく、教室の子供たちが発表している声が聞こえませんでした。

参観の仕方について、保護者の皆様のご協力をお願いします。

- お迎えの電話をした時、対応が悪いです。

学校評価項目9では、良好の評価をいただいておりますが、今後もさらに丁寧な電話対応をするよう努めていきます。

- 持久走大会のコース・スタート・伴走等について、今後改善策を検討してほしいです。

今回いただいたご意見と、今年度の反省をもとに、次年度に向けて改善をします。

- 地域とのつながりを考えた行事が少ないと思いました。社会勉強のような授業は子供たちは好きではないでしょうか。

コロナ禍により地域との交流が制限されていましたが、今年度からウィズコロナで地域の交流が始まりました。今後も、感染対策を行いながら実施してきます。

※2学期までに、高齢者福祉学習（地域の高齢者の方とのふれ合い）、いもの苗植え、仕切り網体験、町探検（2回）、うまかもん収穫体験（きくらげ、みかん、さつまいも、ミニトマト）、有明フットパス子供ボランティアガイド、有明太鼓体験などを実施しています。

- 毎日学校での出来事を楽しく話してくれます。先生方の名前とお顔がいまいち分からないので、顔写真入りの職員紹介をいただけるとありがたいです。

PTA新聞や学級通信などを利用して、職員紹介をしていく方向で検討します。

- このアンケートに関して、学校の授業に関する内容は授業参観程度では判断がつかないので「分からない」という項目も必要だと思います。

評価がしづらい項目については、「わからない」などの回答ができるような工夫を検討します。

- 学年が上がって、授業がわかりにくくなったと子供から聞きます。宿題も少ないので増やしてほしいです。兄弟で比べると量と内容に差があります。

授業については、職員研修等で分かりやすい授業づくりについて研究し、共通理解を図りながら授業に取り組んでいるところです。今後も引き続き行っていきます。宿題の量については、再度、全職員で話し合う機会を設け、検討します。